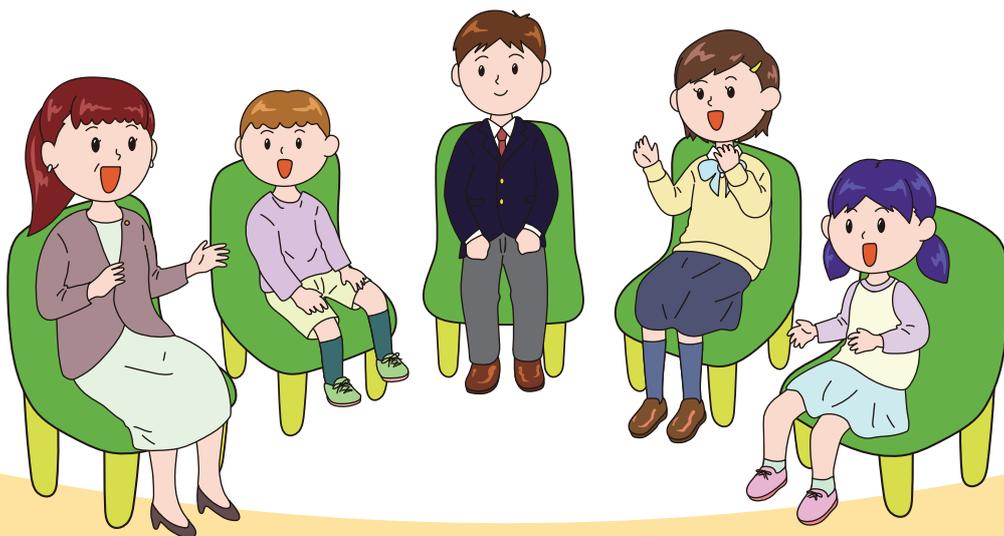


わかもの
こども・若者から
いけん
意見をきくために

ちょう さ けっ か へん
調査結果編

せいさく けつてい かてい いけんはんえい
こども政策決定過程におけるこどもの意見反映プロセスの
あかた かん ちょうさ けんきゅうほうこくしょ ばん
在り方に関する調査研究報告書(やさしい版)



こどもまんなか
こども家庭庁

ちょう さ けっ か へん 調査結果編について

ちょう さ けっ か へん しら
調査結果編では、調べてわかったことについて

わ しょうかい
4つに分けてそれぞれ紹介しています。

にほん とりくみ かいがい とりくみ せんもん か はなし
「日本の取組」「海外の取組」「専門家の話」

わかもの こえ か ていちょう
「こども・若者の声(こども家庭庁のチャレンジ)」

ちょう さ けんきゅう し
この調査研究についてもっとくわしく知りたい!

わかもの こえ み ひと
こども・若者の声をもっと見てみたい!という人のために、

ほうこくしょ がいよう ばん ほうこくしょ ぜんたいばん
「報告書<概要*版>」「報告書<全体版>(くわしくまとめたもの)」

よう い
も用意しています。



ちょう さ けんきゅう ほう こくしょ
調査研究報告書のページ
についてもっと知りたい人はコチラ!



しりょうしゅう だい しょう じぎょう さん か かた こえ いちらん
また、<資料集>の第5章7「モデル事業に参加した方の声(一覧)」

わかもの よ さまざま こえ
では、こども・若者のみなさんから寄せられた様々な声を

わかもの い けん
まとめていて、「こども・若者の意見」について、よりくわしく

し
知ることができます。

ことば せつめい
<言葉の説明>.....

がいよう だいじ てん ちゅうしん ないよう
●概要:大事な点を中心に、内容をおおまかにまとめたもの

どんな調査研究？

「こどもの意見い けん」が大切たいせつとはいっても、これまでわが国くにでは「こどもの意見い けんや声こえに耳みみを傾かたむけて、それをこどもに関わる制度かかや政策せいどに活かしていく」ということが十分じゅうぶんにできていませんでした。

そのため、「こどもの意見い けんをどうきいたら良いよのか」「きいた意見い けんをどう扱あつかったら良いよのか、どう政策せいさくに反映はんえいするのか」などについて、**くわしい人たちひと（検討委員けんとうい いん）**のアドバイスしらももらいながら、調しらべることにしました。

そうして調しらべたことから、「これからこども・若者わかものの視点してんに立たって政策せいさくを考かんがえていくために、こども・若者わかものが参加さんかしやすく、安全あんぜん・安心あんしんに意見い けんを伝つたえられる環かんきょう境ををどうついたら良いよのか」を考かんがえ、こども家庭庁か ていちょうへの提ていあん案をとしてまとめました。

しら 調べたこと

にほん とりくみ
日本の取組

かいがい とりくみ
海外の取組

せんもん か はなし
専門家の話

こども・
わかもの こえ
若者の声

こども家庭庁の
チャレンジ



どんな調査研究？

たくさんの人に意見をききながら調べました



わかのもの めい
こども・若者(2,361名)



みしゅうがく めい しょうがくせい せ だい めい ちゅうがくせい せ だい めい こうこうせい せ だい めい こうこうそつぎょうい じょうせい だい めい
未就学*2名、小学生世代630名、中学生世代379名、高校生世代400名、高校卒業以上世代950名

たいめん めい めい めい ウェブ めい こべつ めい
対面48名、オンライン51名、チャット53名、Webアンケート2,119名、グループ・個別ヒアリング90名

けん とう い いん めい
検討委員(6名)



せんもん けんり わかものさんかく わかもの しゃかい さんかく
専門: こどもの権利、こども・若者参画*のまちづくり、こども・若者の社会への参画、

しゃかいてきようご わかものし えん いりようてき じ し えん
社会的養護*のこども・若者支援、医療的ケア児*支援

せんもん か めい
専門家(16名)



せんもん わかもの しゃかいさんかく しゅけんしゃきょういく けんり じんけん こえ にゅうようじ
専門: 若者の社会参画、主権者教育*、こどもの権利・人権、声をあげにくいこども*、乳幼児*

さんかく かんきよう かいがい とりくみ
こども参画のまちづくり・環境づくり、海外の取組

ことば せつめい
〈言葉の説明〉

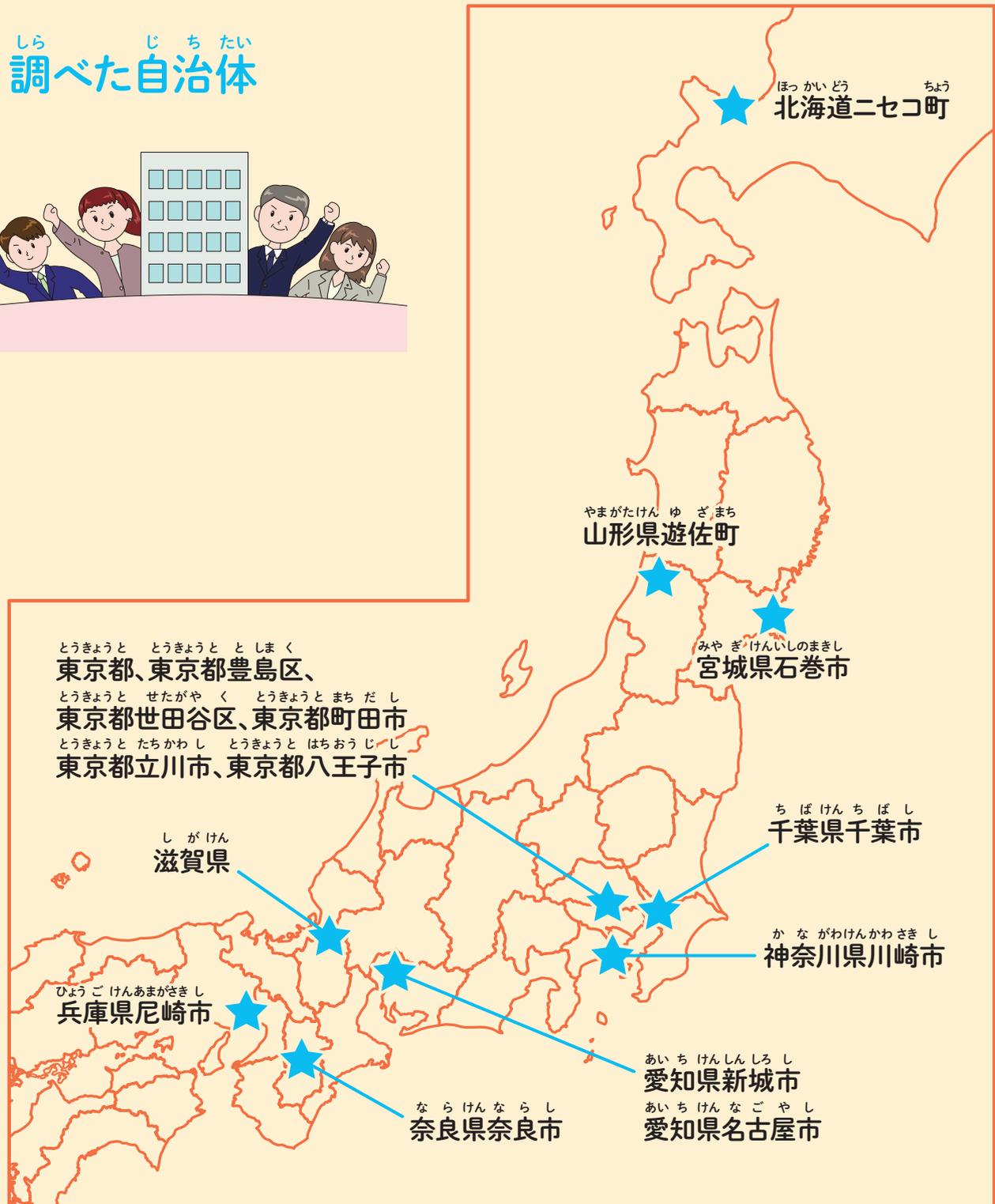
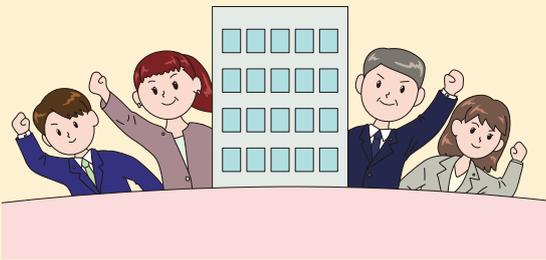
- 未就学: 小学校に入学する前の年れいのこども ● 参画: 参加し、関わること
- 社会的養護: 保護者がいない、保護者が育てるのがむずかしいなどの時に、こどもを社会が守り、育てるとともに、こどもを育てるのが難しい家庭を支援すること
- 医療的ケア児: 生活の中で、人工呼吸器やたんの吸引といった特別な道具や助けが必要なこども
- 主権者教育: 国や社会の問題を、自分に関係あることだと考え、関わる力を育む教育
- 声をあげにくいこども: 不登校、虐待を受けている、障害がある、日本語が苦手などの事情で、自ら意見を伝えるのが難しいこどもや若者
- 乳幼児: 産まれてから、小学校に入学する年れいまでのこども

にほん とりくみ 日本の取組

にほん じちたい わかもの いけん とりくみ おこな
日本でも、さまざまな自治体でこども・若者から意見をきく取組が行われています。

とりくみ しら
その取組について、調べてみました。

しら じちたい 調べた自治体

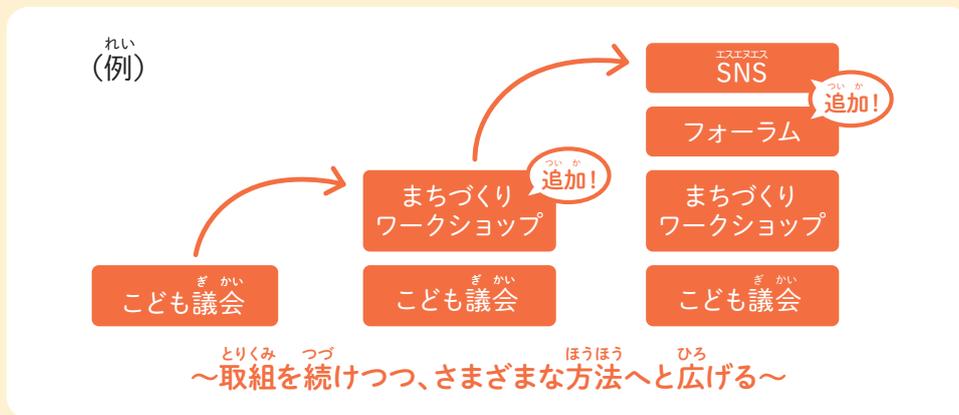


日本の取組

自治体の取組の良かったところ

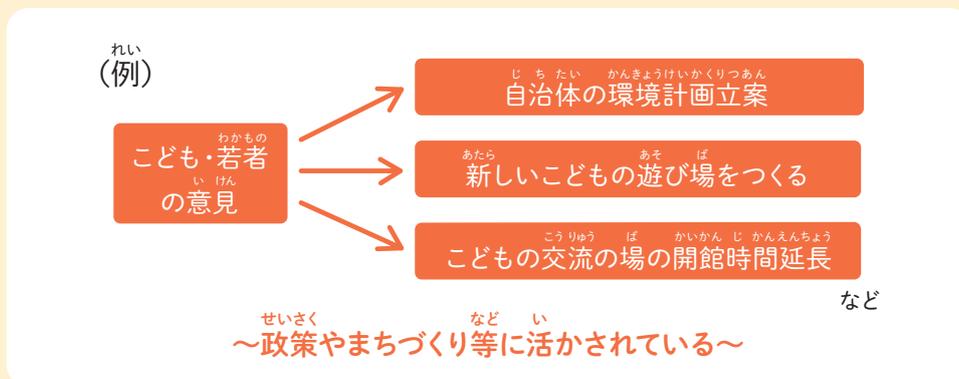
【こども・若者から意見をきく方法】

自治体によって、**条例***をつくって取組をしているところもあれば、**SNS**や**アンケート**などで気軽に意見を伝える機会を用意しているところもあり、意見をきくことの実現方法もさまざまでした。中には、いくつかの方法をうまく組み合わせているところもありました。そうした自治体では、10年～20年かけて、上手な方法をつくり上げてきていました。



【こども・若者から意見をきいた成果】

こども・若者の意見は、きかれるだけでなく、政策やまちづくりに活かされていることもわかりました。中には、こども・若者に**予算***を提案する権利を用意したり、自治体が持っている施設の運営をこども・若者主体で行ったりしているところもありました。



〈言葉の説明〉

- 条例: 地方自治体が決めた決まりごと
- 予算: お金の使い道。ここでは特に地方自治体のお金の使い道のこと

日本の取組

自治体の取組の良かったところ(続き)

【しっかりと振り返りをする】

子ども・若者の意見が政策や取組へ反映されなかった場合でも、大人が「子どもの最善の利益(子どもにとって一番良いこと)」という考え方を大事にしなが、どのように考えたのかを子ども・若者に伝えることで、子ども・若者が自分たちの意見がしっかりと伝わっていることを感じる事ができるということが分かりました。



～大人が子ども・若者の意見にしっかりと向き合うことが重要～



いしのまきしこ みやぎけいしのまきし
石巻市子どもセンターらいつ(宮城県石巻市)



ねんど わかもの ちばけんちばし
「2021年度子ども・若者フォーラム」(千葉県千葉市)



しんしろし わかもの ぎかい しんしろし
新城市若者議会の仕組み(愛知県新城市)

海外の取組

子ども・若者から意見をきくことについて、海外では、ヨーロッパを中心にさまざまな取組がされています。その中で、ヨーロッパ連合(EU)、アイルランド、フィンランド、ニュージーランドの取組について、調べてみました。

海外の取組の良かったところ

※海外の取組画像について、P23で出典の記載をしています。

国の方針決めに関わられる



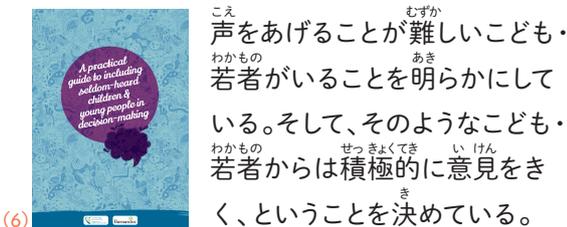
国の方針を決める時に、数千人～数万人の子ども・若者の声をきいている。子ども・若者の声で方針が変わったこともある。

さまざまな場で意見を伝えることができる



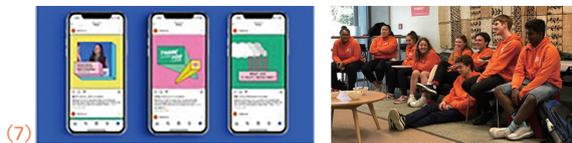
民主主義*について学び、国会議員*などに直接声を届ける機会がある。その経験は、将来の職業選びや投票にも影響している。

声をあげにくい子ども・若者の声をきく



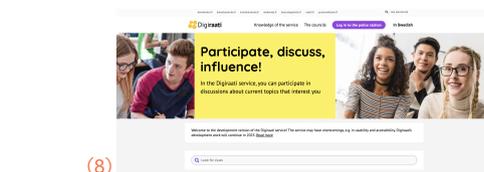
声をあげることが難しい子ども・若者がいることを明らかにしている。そして、そのような子ども・若者からは積極的に意見をきく、ということを決めている。

政策と子ども・若者のかけ橋



政策を若者向けに分かりやすく情報発信したり、SNS上の若者の声をまとめて国に届けたりする若者たちがいる。

オンラインで話し合える場所



子ども・若者に関する問題について、オンラインで匿名で議論できるプラットフォーム*がつくられている。(テスト段階)

大人が子ども・若者の声をきくことを助ける仕組みや方法



政策を決める立場の大人が子ども・若者の声をきくための仕組みや、声をきけているか確認する方法などが開発されている。

言葉の説明

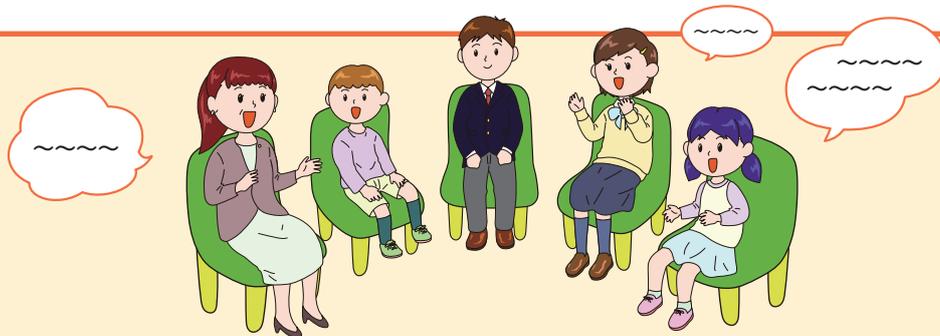
- 民主主義:「みんなで話し合ってものごとを決めよう」という考え方
- プラットフォーム:場所
- 国会議員:国の政治の進め方を決めたり法律をつくったりする会議(国会)に参加し、国民の代表としてはたらく人たち。選挙によって、国民の中から選ばれる

せんもんか はなし 専門家の話

わかもの こども・若者のことにくわしい人たち(せんもんか 専門家)に、わかもの こえ こども・若者の声をきくために
どうしたらよいか、だいじ 大事なポイントはなに なに何かをききました。

だいじ 大事なポイントの例

- い けん 意見いけんをきかれることはこども わかもの けんり 若者の権利。
- い けん 意見いけんをきくこともだいじ 大事だけど、こども わかもの い けん も こども かんが 若者が意見いけんを持てるようかんが 考えるための
て だす 手助けてだすをすることもだいじ 大事。
- い けん 意見いけんをきく方法ほうほうは、こども わかもの えら 若者が選ぶえらようにいろいろあった方がよい。
- おとな 大人おとながききたいテーマの意見いけんだけを求めるのはダメ。どんなことについて意見いけん
をつた 伝えてもらうかをき 決めるところからこども わかもの さんか 若者が参加さんかできる方がよい。
- いろいろな背景はいけいをもつこども わかもの こえ 若者の声こえをきくことがだいじ 大事。また、たとえばぼうさい 防災
がテーマのときはさいがい 災害さいがいが起きたとき たす 助けから取り残されやすいおも 重いおも障害しょうがい
ある人ひとに話をきくなど、テーマにつよ 強くつよ関係するこども わかもの こえ 若者の声こえは特にしつかり
ときくことがだいじ 大事。
- こえ 声をあげにくいこども わかもの こえ 若者の声こえこそしつかりきこう。そのために必要な工夫ひつよう くふうに
ついては、どのしょうちょう 省庁しょうちょう*・ちほうじちたい 地方自治体ちほうじちたいでもできるようにわ 分かりやすくまとめられて
いるとよい。こども わかもの い けん つた 若者が「意見いけんを伝えやすいな」とおも 思える場づくりができる
おとな 大人おとなを増やそう。



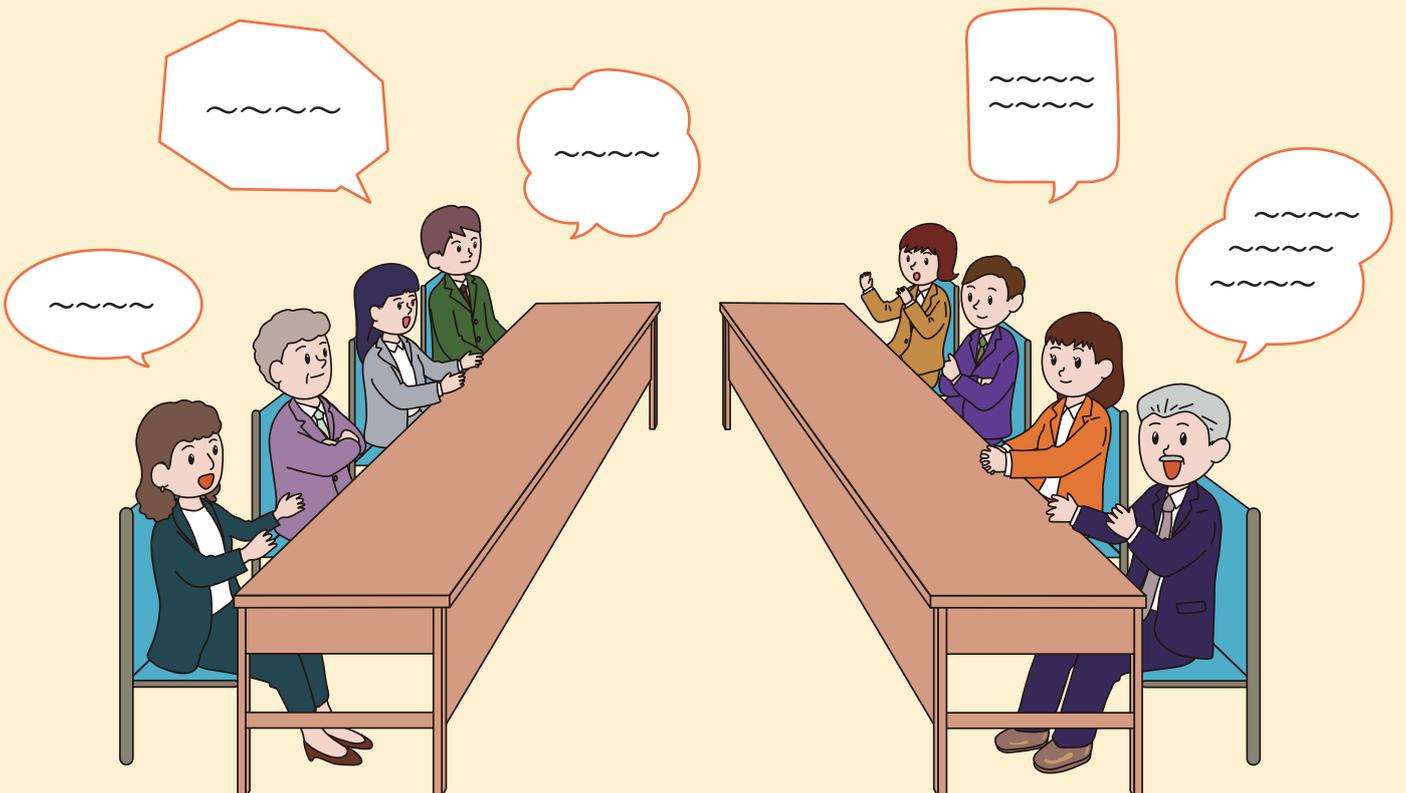
ことば せつめい 言葉の説明

- しょうちょう くに やくしょ たんとう 省庁しょうちょう: 国の役所で、担当たんとうごとにさまざまなものがある(こども家庭庁もそのうちのひとつ)

せん もん か はなし
専門家の話

だいじ れい つづ
大事なポイントの例(続き)

- 意見の「ききっぱなし」はダメ。きいたことはしっかり受け止め「子どもにとって何が一番良いことか」を考えて政策に反映する。反映が難しい場合は、できない理由をしっかりと説明し、どんなことならできそうか、子ども・若者と対話しよう。
- 政策に反映しても「やりっぱなし」はダメ。実現してみてもどうだったのかを確認・評価しよう。それも、子ども・若者と一緒にやろう。
- とにかく「子ども中心」を大切にしてほしい。そのことを世の中全体に広めてほしい。
- 子ども家庭庁だけでなく、他の省庁と協力して実現してほしい。また、国だけでなく、地方自治体にも広めてほしい。
- 子ども・若者の声をきく手助けをしている人たちを助けてほしい。
- 子ども家庭庁がもっと子どもたちの近くにあると良い。



こども・若者の声

「どのような仕組みや環境があれば、こども・若者は国や自治体の政策について意見を伝えやすいか」をテーマに、さまざまな方法でこども・若者から意見をきいてみました。

さまざまな方法できいてみました

広くこども・若者にきいてみた

- ・対面
- ・オンライン
- ・チャット
- ・Webアンケート



こどもの居場所や施設に行きいてみた

- ・不登校のこども
- ・児童養護施設*
- ・児童相談所一時保護所*
- ・困難を抱える若者*
- ・児童館*を利用するこども

専門家にきいてみた

- ・乳幼児
- ・医療的ケア児



協力してくれたみなさん、声をきかせてくれてありがとう!

こども家庭庁のチャレンジ(対面でこども・若者の意見をきいた時の様子)



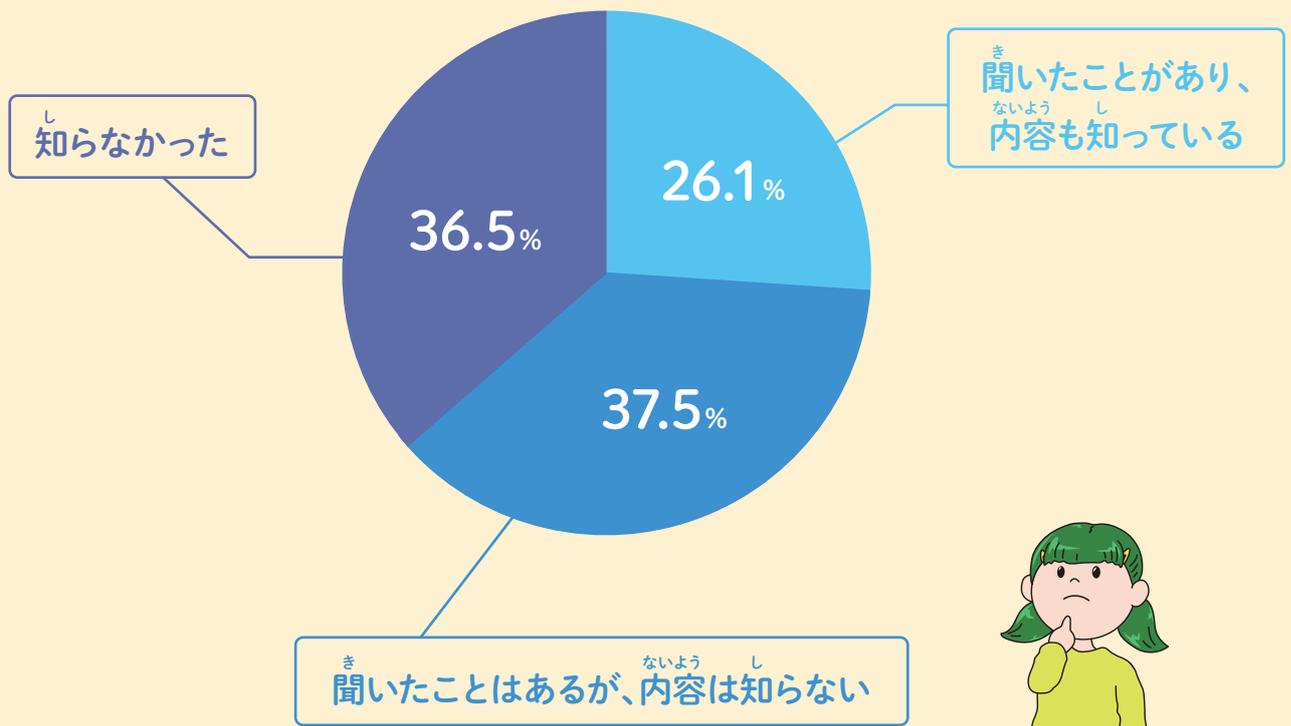
〈言葉の説明〉

- 児童養護施設: こどもが家庭以外の場所で暮らすところ
- 児童相談所一時保護所: 虐待や、家族が育てられないなどの理由で、こどもが家庭から一時的に離れて暮らすところ
- 困難を抱える若者: ここでは「社会的養護を経験した若者、親元からひなんした若者」を指す
- 児童館: こどもの体験・交流・遊びを手助けする場所

こども・若者の声

ウェブ Webアンケートの声

Q: こどもが意見を表明する権利を知っていますか？



※割合の数字は小数点第2位以下を四捨五入しているため、合計が100%にならないことがあります。

こどもが意見を表明する権利

「児童の権利に関する条約」の第12条で、こどもは、自分に関係のあることについて自由に自分の意見を表す権利をもっていると規定されています。その意見は、こどもの発達に応じてじゅうぶん考慮*されなければなりません。

〈言葉の説明〉.....

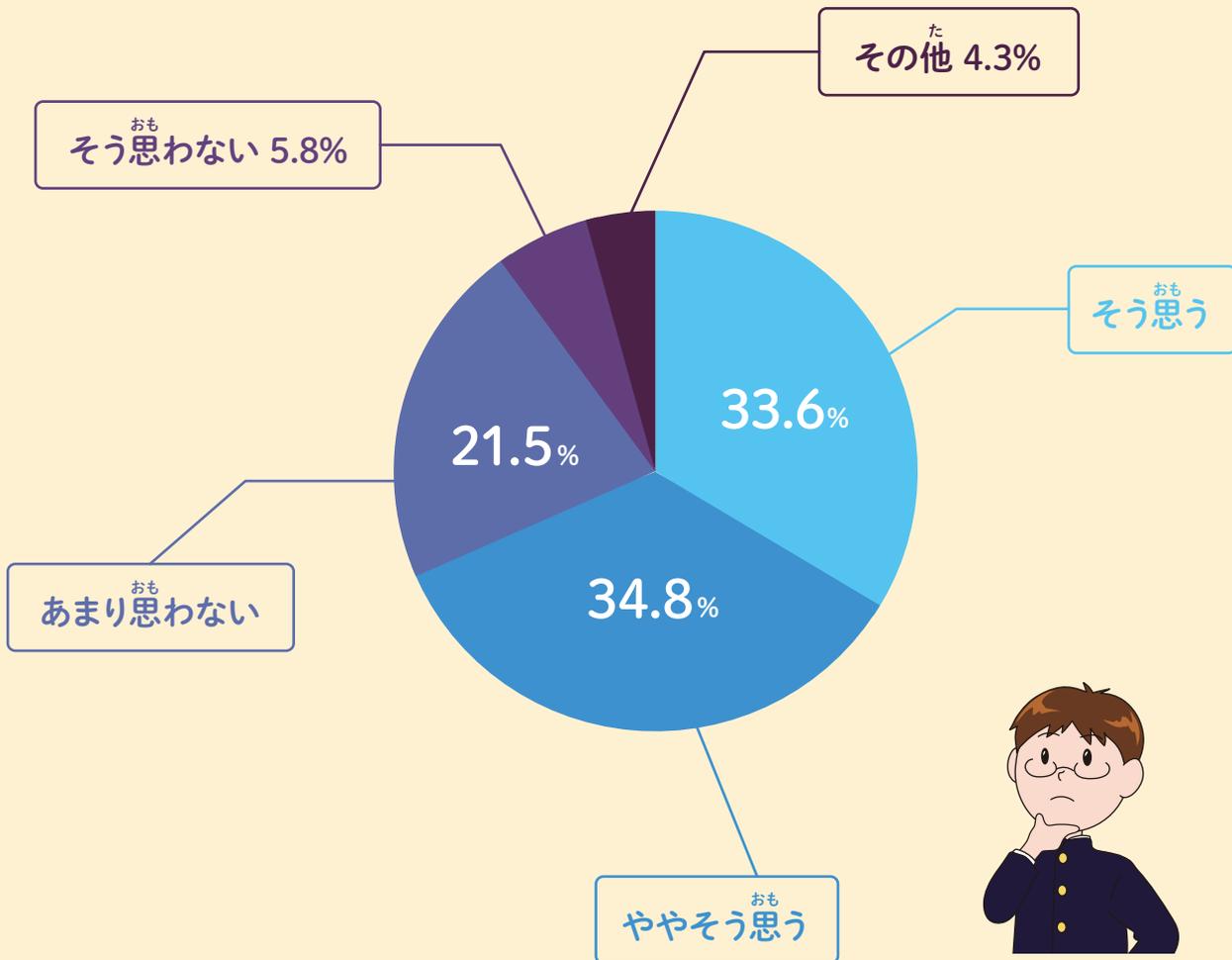
- 考慮: よく考え、必要な配慮をすること



こども・若者の声

Webアンケートの声(続き)

Q: 国や自治体の制度や政策について、思ったことや意見を伝えたいですか?
(2,119人)



「こども・若者が意見を表明して良い」ということ(権利があること)はあまり知られていませんでした。

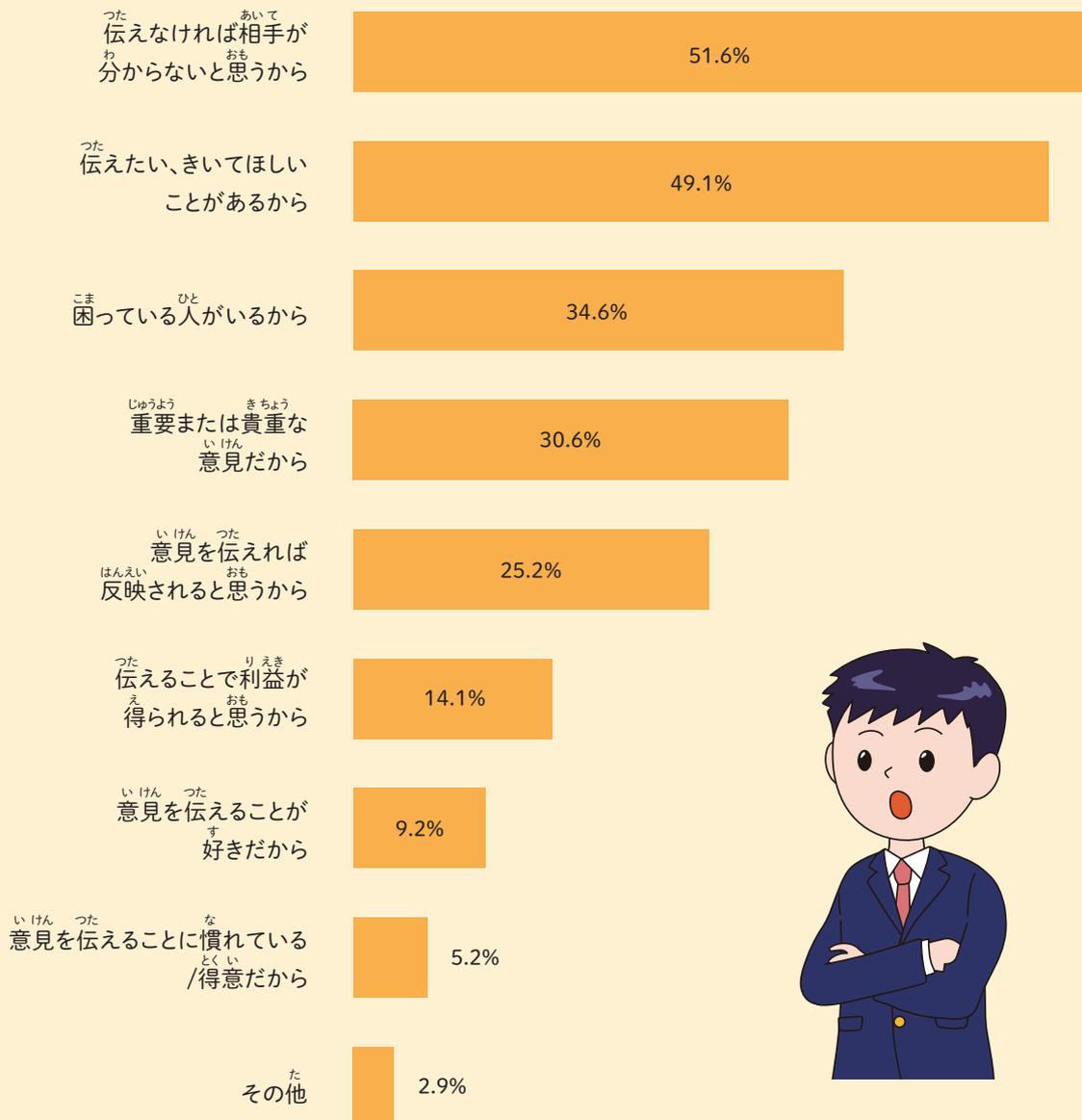
次のページからは、意見を伝えることについてどう考えているか、どうしたら意見を伝えやすいかなどについて、こども・若者のみなさんから届いた声を紹介します。

こども・若者の声

ウェブアンケートの声(続き)

Q: 国や自治体に意見を伝えたいと思う理由は?

[当てはまるものを全て選ぶ](1,449人)

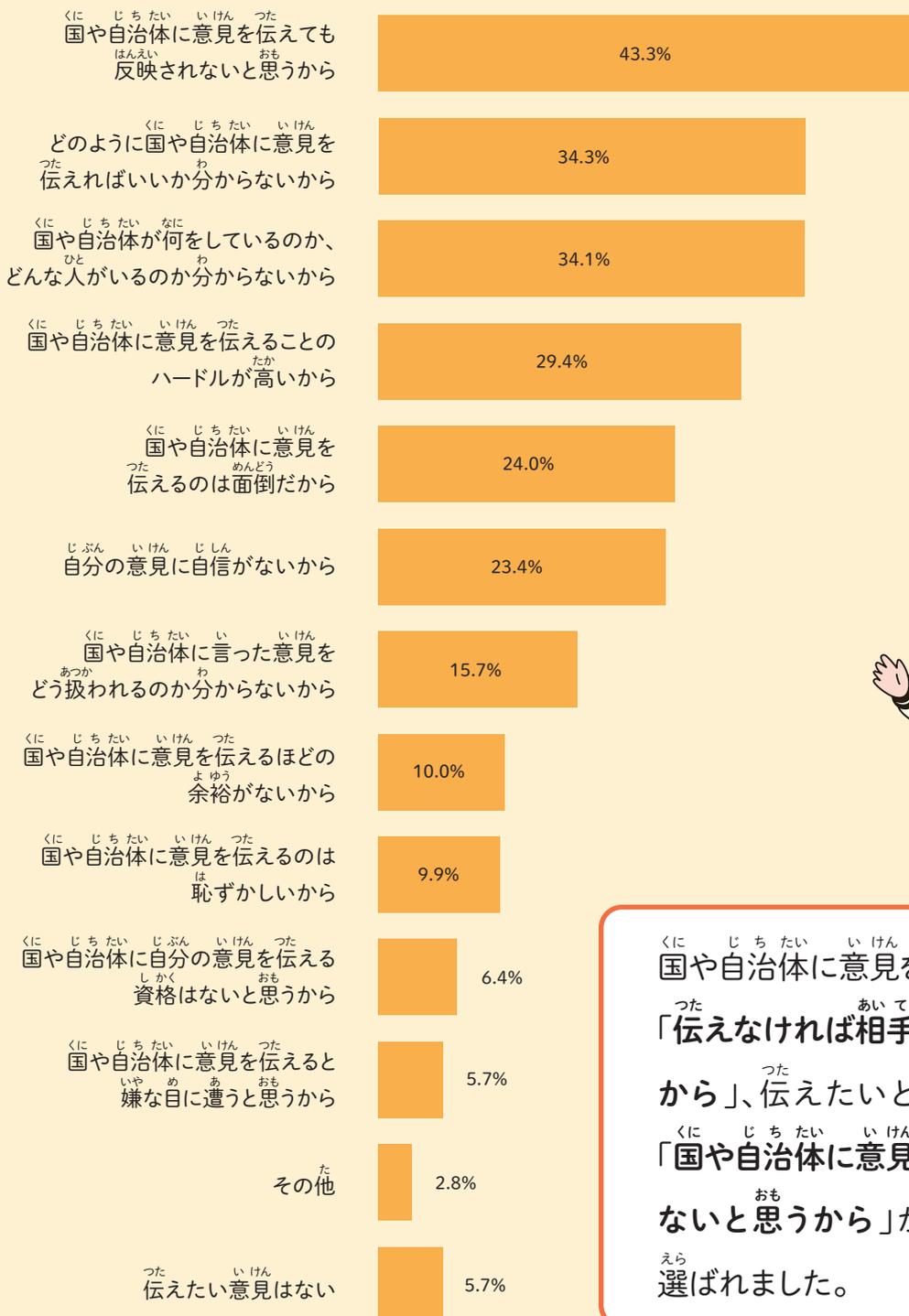


こども・若者の声

Webアンケートの声(続き)

Q: 国や自治体に意見を伝えたいと思わない理由は?

[当てはまるものを全て選ぶ](576人)



国や自治体に意見を伝えたい理由では、「伝えなければ相手が分からないと思うから」、伝えたいと思わない理由では「国や自治体に意見を伝えても反映されないと思うから」がそれぞれ一番多く選ばれました。

こども・若者の声

Webアンケートの声(続き)

Q: どのような相手であれば、国や自治体に対して意見を伝えやすいですか?
(一部の回答を紹介)

【相手の年代、性別、関係性は関係ない】

- ・きちんと話をきいてくれる人。話をきいてくれる人なら誰でもいいです(小学生)
- ・年代とかじゃなくて、偉そうじゃない人、こどもの意見を決めつけたりバカにしない人。
- ・学校の成績とか内申に関係がないと保証されてる人(中学生)
- ・年代関係なく、対等に最後まで話をきき、
良い方向にむけて一緒に議論できる人(26~29歳)
- ・伝える相手の性別にこだわりはないが、安全確保が大前提(26~29歳)

【身近な人】

- ・学校の先生、お父さん、お母さん(小学生)
- ・知っている人で信頼できる人(高校生)

【機械・AI】

- ・AI(中学生)
- ・初対面の機械(高校生)



こども家庭庁のチャレンジ
(対面でこども・若者の意見をきいた時のようす)

国や自治体に意見を伝える時に、どんな人なら伝えやすいと思うかについては
「相手がどんな人かよりも、きちんと話をきいてくれるかどうかの方が大事」という声
が多くありました。

こども・若者の声

対面・オンライン・チャットの声

こども家庭庁の
チャレンジ

意見をきく人について

安心して意見を伝えられる雰囲気をつくるファシリテーター*がいてほしいという声、
国や自治体の職員は、もっとこどもが意見を伝えやすくなるようにしてほしいという声
などがありました。また、話したことが誰まで伝わるのか分かるようにしてほしい・
ひみつを守ってほしいという声などもありました。

意見を伝えるテーマについて

正解がないテーマの方が話しやすいという声がありました。思ったことを自由に話せる
ほうがよいかもしれません。また、事前に話すテーマがわかっていたり、そのテーマに
ついて説明する資料があったりすると意見を伝えやすいという声もありました。

意見を伝える方法について

意見を伝える方法については、対面、オンライン、チャットやSNS、アンケート、それぞれ
にいいところと難しいところがある、ということが、参加してくれたこども・若者の声から
もわかりました。また、声をあげにくい立場のこども・若者からも声をきくことが大切だと
いう意見も多くあり、そうした立場のこども・若者が声をあげやすくなるためのいろい
ろなアイデアや意見が出ました。



こども家庭庁のチャレンジ(対面でこども・若者の意見をきいた時の様子)

〈言葉の説明〉

- ファシリテーター：グループでの意見交換などの場において、参加者の会話を引き出し、
どのような意見も大切にされるといった安心・安全な場づくりを行う役割を担う人

こども・若者の声

対面・オンライン・チャットの声(続き)

こども家庭庁の
チャレンジ

意見を伝える方法について(続き) ※一部の回答を紹介

【対面】

- 相手の表情やテンポ(反応)がわかるのでよい
- 議論を深めていけるところがいい
- 少人数がいい

【オンライン】

- 急用、移動中には便利、親にばれにくいので一歩踏み出しやすい
- マイクとビデオはオフにしたい場合もある
- 遠くの同じ悩みを持つ人と話せる
- 人数が多いのでしゃべりづらい
- 自分だけ沢山しゃべってしまうのではないかと(出番を読み間違えちゃう、タイミングを間違えちゃう)

【チャット】

- 意見がすぐに言える、文字で投稿できるのがいい
- どんどん別の話になっていって、自分がかかわっている感じがなくなる
- 考えてる間に議論がどんどん進んでいってしまつて結局自分の意見が言えなかった、つてことが多々あるので、確実に意見を伝えられるチャットはありがたいです

【アンケート】

- Webアンケートであれば通勤・通学時間でも入力できる
- 運営しやすいが、意見を言いたい人だけの声になる
- 学校単位でアンケートが行えると良い。その際に学校に来られない人にも別に対応できると良い

声をあげにくいこども・若者の声をきくために

- 普段からなんでも言える人を間にはさむ
- ちょっとずつステップを踏むことが大切
- 普段接する中で自然に吸い上げる仕組みが必要



その他にも、**学校**を通して意見を届けるような方法があると良いという声や、いつでも意見を言える**フリーダイヤル**や**受付フォーム**があると良いという声がありました。また、**こども定例議会**をつくるというアイデアを出してくれた人もいました。どんな人でも、その時々で意見を伝える方法を選べると良いですね。そのためにも、声をあげるためのいろいろな方法が用意される必要があります。

こども・若者の声

対面・オンライン・チャットの声(続き)

こども家庭庁の
チャレンジ

安心して意見を伝えるための場づくりについて

安心して意見を言うためには「かたくるしい」場ではないこと、知られたくないことや個人情報を守られること、時間にゆとりがあること、グループ内の人数が多すぎない方がよいなどの声がありました。

グループの年代や関係性については、関係が近い人が良いという声もあれば、知らない相手の方が言いやすいという声もありました。

自分たちが伝えた声のその後について

「こども・若者の声はきかれにくい」「意見を伝えてもどうせ反映されない」という声が多かったです。この現状は、こども家庭庁も変えたいと思っています。

「伝えた意見がどのように反映されていくか」「反映された結果どのように変わったのか」をきちんとみなさんに知ってもらうことは、みなさんの声を大切にして政策を良くしていくためにとても重要なことです。また、反映が難しいときでも、その理由を伝えてもらえたり、決めるまでの間で参考にされたということを説明されたりすることが重要だという声もありました。

意見表明権に関する教育、意見表明の機会の認知度向上について

意見を言うことやその権利について、学校の授業で教えてほしいという意見がありました。また、対象年代別の発信方法の工夫、こどもの意見表明の意義の発信、インフルエンサーの若者による広報など、こども・若者の声をきく機会についての情報をもっと多くの人に知ってもらうためのいろいろな提案もありました。

こども・若者の声

こどもの居場所や施設に行ってきた声

※不登校のこども、児童養護施設で生活することも、児童相談所一時保護所で生活することも、困難を抱える若者、児童館を利用することもからきた声

自分からは声を伝えづらいと考えられるこども・若者のところには、個別に行き意見をききました。

【意見や気持ちを伝えることについて】



- ・意見を伝えても変わらない ・大人には言わずに我慢している
- ・大人がききたいこととこどもが意見を伝えたいことは違う ・大人にもっと話をきいてほしい

【意見を伝えやすい仕組み、方法、環境について】



- ・話すための場があること ・他の人と違う意見でもきいてくれること
- ・自分たちまで案内が届くようにしてほしい ・自分たちのいるところに来て声をきいてほしい

【意見の伝え方について】



- ・口で話すだけでなく、紙に書いて伝える方がよい

この調査から、「声をあげることはムダじゃないんだ」と思ってもらえるようにしなければいけないということがよく分かりました。また、声をあげる機会を求める声や、意見の伝え方についての声もありました。

こども家庭庁は、今回の調査できた

みなさんの声を参考にしながら、

こども・若者がより意見を伝えやすい

仕組みを考え、つくっていきます。



こども・若者の声

こどもと関わる大人にきいたこと ※医療的ケア児、乳幼児についてきいたこと

今回、直接声をきくことができなかった、医療的ケア児や乳幼児については、医療的ケア児や乳幼児と関わる大人に意見をききました。そこでは、次のようなことを教えてもらいました。

医療的ケア児や乳幼児は、言葉で意見を伝えることが難しいことが多いので、「意見を持っていない」と思われることもあります。

しかし、医療的ケア児や乳幼児も伝えたいことはありますし、言葉で伝えるだけが意見を伝える方法でもありません。まわりの大人が、こどもの様子や表情、行動などから、こどもの気持ちや意見をイメージして代わりに伝えることもできます。

どのような状況のこどもの声も、しっかりきかないといけません。

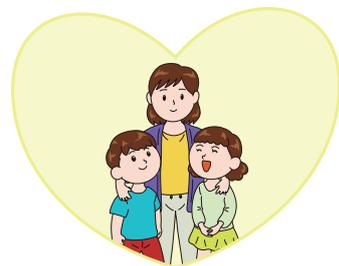
他には、本人が直接伝えられるように工夫したり手助けすることが考えられます。

たとえば、まばたきを使って考えていることを伝える道具などを使ったり、文字の代わりに絵や写真を使って表現してもらうことができます。

また、本人から直接きくのではなく、誰かに代わりに意見や気持ちを伝えてもらう時には、家族はもちろん、本人と身近な関わりがある人からも話をきくことが大事です。

今回は時間や用意が足りず、本人たちのところにききに行くことができなかったので、やむをえず大人に意見をききました。でも、本当は、できるだけ直接意見をきけるように、必要な準備や工夫や用意についてしっかり考えなくてははいけません。

こども家庭庁も、今回直接意見をきくことができなかった、医療的ケア児や乳幼児のようなこども・若者からも直接意見をきくために、これからもっとがんばっていきます。



ちよう さ けん きゆう か てい ちよう
この調査研究とこども家庭庁について

ちよう さ けんきゆう
この調査研究について

※PDFではURLをクリックするとリンクにアクセスできます。

→ https://www.cfa.go.jp/councils/ikenhanei_process/report/

(くわしい^{ばん}版、ポイント^をまとめた^{がいようばん}概要版、こども^{わかもの}・若者^{こえ}の声^{しりよう}などの^{かくにん}資料^を確認
することができます)



か てい ちよう
こども家庭庁について

 ホームページ → <https://www.cfa.go.jp/>



 ツイッター
Twitter → @KodomoKatei



 ユーチューブ
YouTube
→ https://www.youtube.com/channel/UCZMUbe4IORUMvFYuO_Prpgg



 ^{せいさくたんとうだいじん}
こども政策担当大臣からのメッセージ
→ <https://www.youtube.com/watch?v=eALgHeiLC8A>



 ^{かていちようせつめいしりよう}
こども家庭庁説明資料
→ https://www.cfa.go.jp/assets/contents/node/basic_page/field_ref_resources/955ad890-b9a8-4548-ba93-aba03c6ef54e/aad04e98/20230113_resources_cfa_overview_brochure_01.pdf



 ^{そうだんまどぐち}
相談窓口

※こどもが抱えるさまざまな^{かか}困難^{こんなん}について、こども自らが^{みずか}悩み^{なや}を^{そうだん}相談^をでき、
^{エスオーエス} SOS^{はっしん}を発信^{そうだんまどぐち}できる^{じようほう}相談^{かていちよう}窓口^{けいさい}の^を情報^をこども家庭庁^をホームページ^にに掲載^{して}います



どう が 動画・パンフレット ー 覧 いち らん

やさしい
版

き ほん ほう 子ども基本法

パンフレット



<https://www.cfa.go.jp/resources/library-for-children>



動画



<https://youtu.be/NMw-JqACFLM>



か てい ちやう 子ども家庭庁

動画



https://youtu.be/c_rEKL-nYAE



パンフレット



<https://www.cfa.go.jp/resources/>



動画



<https://youtu.be/ZNb80TAHeGc>



動画



<https://youtu.be/kXnUUA-voFM>



か てい ちやう 子ども家庭庁パンフレット

https://www.cfa.go.jp/assets/contents/node/basic_page/field_ref_resources/955ad890-b9a8-4548-ba93-aba03c6ef54e/aad04e98/20230113_resources_cfa_overview_brochure_01.pdf



か てい ちやう 子どもの家庭庁 総合政策担当(子ども意見係) E-mail → kodomo_iken@cfa.go.jp

「海外の取組」画像の出典一覧

けいさい かく が ぞう しゅってん ばんごうじゆん き さい
P7で掲載している各画像の出典を番号順に記載しています。

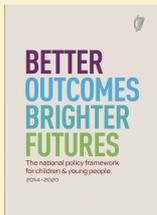
(1)



おうしゅうい いんかい ーユー わたし わたし けんり わたし みらい
欧州委員会 (EU) 私たちのヨーロッパ、私たちの権利、私たちの未来

<https://www.unicef.org/eu/documents/summary-report-our-europe-our-rights-our-future>

(2)



アイルランド よりよい成果、より明るい未来
：子ども・若者のための国家政策枠組みの評価指標

Better Outcomes, Brighter Futures:
Government of Ireland: Department of Children and Youth Affairs. Better Outcomes, Brighter Futures: The National Policy Framework for Children & Young People 2014 - 2020. Dublin: Published by The Stationery Office; 2014

<https://assets.gov.ie/23796/961bbf5d975f4c88adc01a6fc5b4a7c4.pdf>

(3)



ニュージーランド 子ども・若者のウェルビーイング戦略

<https://www.childyouthwellbeing.govt.nz/sites/default/files/2019-08/child-youth-wellbeing-strategy-2019.pdf>

(4)



フィンランド 国家子ども戦略

<https://www.lapsenoikeudet.fi/wp-content/uploads/2021/04/child-strategy-ENG.pdf>

(5)



ニュージーランド 若者議会

<https://www.parliament.nz/en/get-involved/youth-parliament-2022/>

かい がい とり くみ が ぞう しゅっ てん いち らん
「海外の取組」画像の出典一覧

(6)

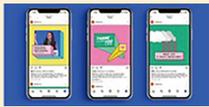


アイルランド ^{い し けつてい}意思決定において^{こえ き}声を聴かれにくい^{わかもの}子どもや若者を
^{ふく}含めるための^{じっせん}実践ガイド

Seldom-Heard Toolkit:
Government of Ireland: Department of Children and Youth Affairs. Better Outcomes,
Brighter Futures: The National Policy Framework for Children & Young People 2014 - 2020.
Dublin: Published by Government Publications; 2015

<https://hubnanog.ie/wp-content/uploads/2023/03/Seldom-Heard-toolkit.pdf>

(7)



ニュージーランド ^{ハイバー わかもの} Hiver(若者と政策決定者の間^{せいさく けつてい}の双方向^{あいだ}
^{そうほうこう}コミュニケーションを取る^と役割^{やくわり}を担う^{にな}若者グループ^{わかもの})

<https://thehive.nz/>

(8)



フィンランド司法省 ^{しほうしよ} Digiraati(子どもや若者が自由^{じゆう}に議論^{ぎろん}するための
デジタルオンラインプラットフォーム)

<https://digiraati.fi/?lang=fi&headless=false>

(9)



アイルランド ^{わかもの} 子どもや若者の意思決定への^{い し けつてい}参画^{さんかく}のための^{こっか}国家フレームワーク

Participation Framework:
Government of Ireland: Department of Children, Equality, Disability, Integration and Youth.
The National Framework for Children and Young People's Participation in Decision-making.
Dublin: Published by Government Publications; 2021

https://hubnanog.ie/wp-content/uploads/2021/04/5611-Hub_na_nOg-LundyModel.pdf

https://hubnanog.ie/wp-content/uploads/2021/04/5611-Hub_na_nOg-everyday_spaces_checklist-2.pdf

https://hubnanog.ie/wp-content/uploads/2021/04/5611-Hub_na_nOg-Feedback-Form_group1.pdf

こどもまんなか
こども家庭庁

